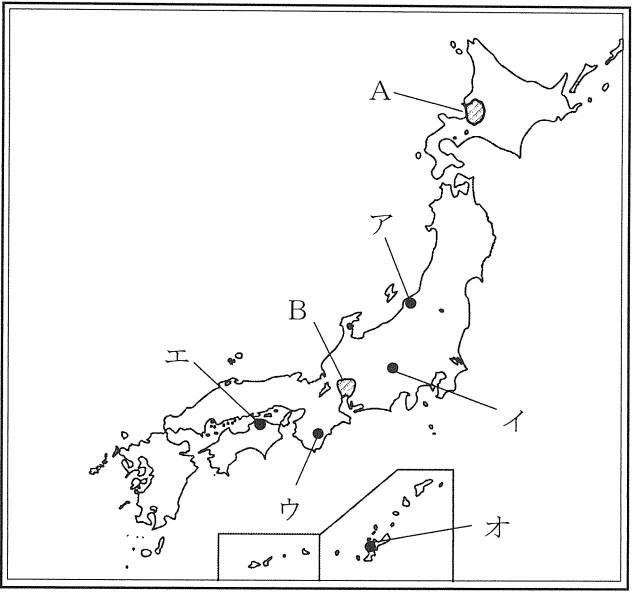


受験番号	
------	--

1 次の文章は3人がそれぞれ住んでいる場所について説明したものです。この文章を読んで、下の問いに答えなさい。

カズコさん ここは1年を通して雨が多いです。特に①5月から9月にかけてよく雨が降ります。  
マサルさん ここは1年を通して雨が少ないです。3000メートルをこす山々がつらなり、東に赤石山脈、西には( )山脈が見えます。  
ヒトシさん ここは②冬に雪が多く降りますが、夏は乾燥しています。



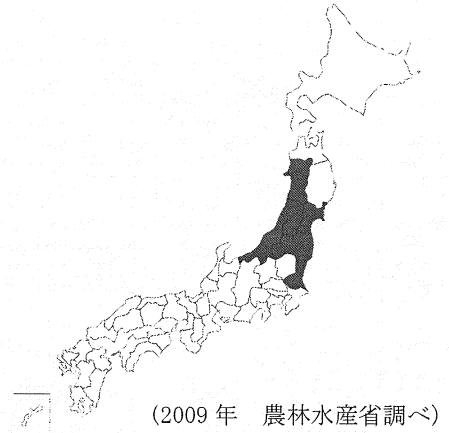
- 問1 地図中のA・Bの平野の名を答えなさい。
- 問2 下線部①について、よく雨が降る理由を簡潔に答えなさい。
- 問3 文章中の( )に入る語句を答えなさい。
- 問4 下線部②について、このような変化を起こすのは、ある風が日本に向かって吹いているからです。その風の名を答えなさい。
- 問5 文章中の3人はそれぞれ地図中ア～オのどの地域に住んでいますか。記号で答えなさい。

問1	A	平野	B	平野	問2	
問3		問4		問5	カズコさん：	マサルさん： ヒトシさん：

2 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

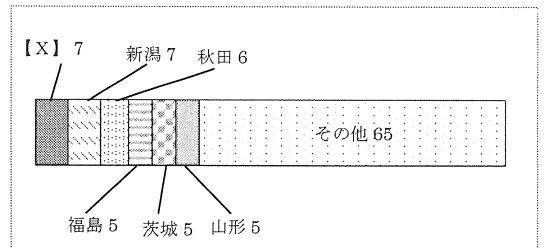
右の地図では年間の米の生産量10万トン以上の都道府県が色ぬりされています。地図を見ると色ぬりされている地域は①北陸や東北などの寒い地域に多く見られます。本来、米は暖かい気候でよく育つものですが、②性質にちがいのある米を組み合わせ、寒さなどに強い、その地域にあった米の種類を作りだし、生産量を増やしてきました。しかし、日本の米作りにも心配な点がいくつかあります。そのひとつに、米作りに力を入れる③農家の数がだんだん少なくなっていることがあります。実際に販売農家のなかでも、農業で暮らしを立てている農家が特に少なくなっています。また、米の消費量が減ってきたため、余る米が増えてきました。その量を調整するため国が生産量を減らす、( )をすすめています。消費量が減り続けているので、生産量をどう調整するかが問題になっています。

《地図》

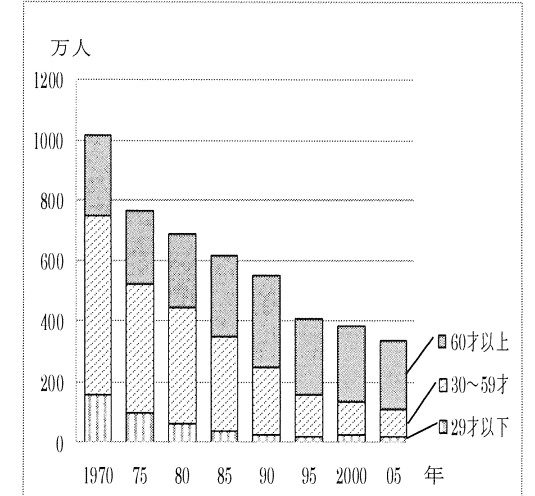


- 問1 グラフIの【X】の都道府県は、右の地図では色ぬりされていません。【X】に入る都道府県名を答えなさい。
- 問2 下線部①について、これらの寒い地域では夏の気温が十分高くないために、生長が悪くなることがあります。このようなことを何といいますか。
- 問3 下線部②について、このように組み合わせをすることを何といいますか。
- 問4 下線部③について、右のグラフIIから読み取れることを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

《グラフI》都道府県別 米の生産量の割合(%)



《グラフII》年齢別農業人口のうつり変わり



- ア. 農業人口全体が増加してきている。
- イ. 高齢者の農業人口が減少してきている。
- ウ. 若い人の農業人口が減少してきている。
- エ. 米の消費量が大きく減少してきている。

問5 文章中の( )に入る語句を答えなさい。

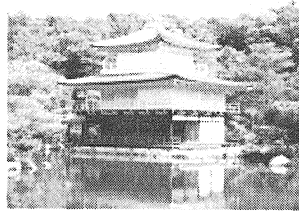
問1		問2	
問3		問4	問5

3 次の【資料ア】～【資料エ】はいずれも同じ時代に関する人物や建物です。これらについて、下の問いに答えなさい。

【資料ア】



【資料イ】



【資料ウ】



【資料エ】



- 問1 【資料ア】の人物は3代将軍となり、中国（明）との貿易を始めました。この人物はだれですか。  
 問2 【資料イ】の建物は【資料ア】の人物によって京都の北山きたやまに建てられました。この建物の名を答えなさい。  
 問3 【資料ウ】の建物は京都の東山ひがしやまに8代将軍によって建てられました。この建物の1階や、東求堂とうくどうなどの造りを何といいますか。  
 問4 【資料ウ】を建てた人物が将軍の時、将軍のあとつぎをめぐって大きな戦乱が起こりました。この戦乱の名を答えなさい。  
 問5 【資料エ】の人物は中国（明）にわたって絵の修行を重ね、日本に帰って水墨画すいぼくがを完成させました。この人物はだれですか。

問1		問2		問3	
問4		問5			

4 次のA～Eの文章を読んで、下の問いに答えなさい。

- A (ア) 関ヶ原せきがはらの戦いに勝利した徳川家康は征夷大將軍とくがわいえやす せいいたいしやうぐんとなり、江戸に幕府を開きました。この時代には(イ) 武家諸法度ぶけしよほつとというきまりが定められ、これにそむいた大名は厳しく罰せられました。またキリスト教は禁止され、(ウ) ふみ絵により取りしめりを強めるとともに、幕府はキリスト教を広めない中国と(エ) ポルトガルの商人だけに長崎で幕府と貿易することを認めました。
- B 聖徳太子しょうとくたいしは(ア) 蘇我氏そがと協力して天皇を中心とする政治のしくみを整え、役人の心得を示す(イ) 十七条の憲法こころえを作りました。また聖徳太子は小野妹子おののいもこを(ウ) 遣唐使けんとうしとして中国に派遣して対等な国の交わりを結ばせようとししました。聖徳太子がなくなると、中臣鎌足なかとみのかまたりらは蘇我氏をせめほろぼして、天皇を中心とする強力な国づくりを進めました。これを(エ) 大化の改新たいか かいしんといいます。
- C 薩摩藩さつまはんや(ア) 長州藩ちやうしゅうの下級武士たちが中心となった新政府は、新しい政治の方針を(イ) 五か条の御誓文ごせいもんとして示しました。新政府の中心人物となった(ウ) 大久保利通おおくぼとしみちらは、天皇を中心とする政治を全国にゆきわたらせるために版籍奉還はんせきほうかんと廃藩置県はいはんちけんを行いました。この時代は中国との戦争によってリヤオトン半島などをゆずりうけ、さらにロシアとの戦争の後には(エ) 台湾たいわんを併合するなど、積極的に海外に進出していきました。
- D この時代の人びとは貝や木の実を集めたり、(ア) 石や骨などで作った道具を使ってシカやイノシシなどの動物をとって食料とし、食べ物にたきしたり、たくわえたりするために(イ) 弥生土器やよいとよばれる土器を用いました。青森県の三内丸山遺跡さんないまるやまいせきからはたくさんの(ウ) 竪穴住居たてあなのあとが発見されました。また、海の近くでは(エ) 貝塚かいづかとよばれる遺跡も発見され、当時の生活の様子を知ることができます。
- E 都が(ア) 平城京へいじやうきやうに移されたこの時代には、朝廷ちやうていの政治は(イ) 貴族が進めるようになりました。藤原道長ふじわらのみちながはむすめを天皇のきさきにして、生まれた子を天皇にするなどして大きな力をにぎり、その子(ウ) 藤原頼通ふじわらのよりみち びやうどういんは平等院びやうどういんを建てました。この時代には、漢字をもとにしてひらがなやかたかなが作られ、紫式部むらさきしきぶはかな文字を用いて『(エ) 源氏物語げんじものがたり』を書きました。

問1 A～Eの文章中の下線部(ア)～(エ)には、それぞれ1か所ずつあやまっているものがあります。あやまっている語句の記号を答え、正しい語句に直しなさい。

A	記号	語句	B	記号	語句	C	記号	語句
D	記号	語句	E	記号	語句			

問2 A～Eを古い時代から順番に並べたとき、3番目にくるものを記号で答えなさい。

問2	
----	--

問3 次の①～③の人物はどの時代の人ですか。A～Eの記号で答えなさい。

- ① 益田時貞ますだときさだ      ② 清少納言せいしょうなごん      ③ 中大兄皇子なかのおえのおうじ

問3	①	②	③
----	---	---	---